

5 R 学習事業とは・・・

(買い物ゲーム)

■概要

身近な「ごみ問題」をテーマとし宮崎市内の小学4年生を対象にゲーム形式での買い物を疑似体験させることで、「ごみ」の発生を気付かせ減量について考える場所を提供します。

(日常生活における「ごみの減量化・資源化」を推進することを目指します)

■内容

食材に不可欠な「容器」ですが、扱い方によっては「ごみ」になります。

身近な普段の生活の中に環境問題が潜んでいるのです・・・

このわずかな時間の5R学習体験（買い物ゲーム）が、未来を担うこども達の「ごみ」に対する考え方を大きく変える機会になるかもしれません。

●[テーマはごみ]

「ごみ」を減らすためには何かを変えたり、始めたり、断ったり、意識して行動しなければなりません。そのためには『ごみを減らしたい』という気持ちを持つことが大切です。しかもそれは“おしきせ”ではなく、心の内からわき上がってきたものであることが理想です。それには「ごみ問題」にきちんと「気づき」、「問題と向き合う」ことが必要となります。そうした問題に楽しく「気づく」ことができるように考えられたのが「買い物ゲーム」です。

●[設定はカレー作り] ※ロールプレイゲーム

本物そっくりに描かれたイラストの材料キットを使った「模擬店舗」内で、カレー作りに必要な「買い物体験」をするロールプレイゲームです。

1クラスのこども達を1グループが5～6人に分け、それぞれのグループごとにカレーの材料を買いそろえます。

●[ワークショップ型の学習プログラム]

「ごみ」の現状が分かったら、「ごみ」を減らすための工夫を考えます。

個々のアイデアをグループで話し合い、まとめ、発表するワークショップ型のプログラムで授業を進めて行きます。

※詳しくは裏面を参照ください！